

海運業界で初めて日本政策 投資銀行の環境格付を取得

商船三井社長 武藤 光一氏

本誌 今年度の第1四半期（二〇一一年四月～六月）は赤字決算となりましたね。

武藤 この第1四半期の連結業績は売上高が前年同期比二二%減の三四九一億円で、経常損失八四億円、純損失八〇億円の赤字決算となりました。東日本大震災の影響により日本の完成車輸出が大幅に減少し、自動車船が損失に転じたこともありませんが、それよりもドライバルク船やタンカー、コンテナ船のマーケットが低迷、さらに燃料油価格の高騰、急激な円高の進行などもあり、赤字を余儀なくされました。なかでも当社の強味であるドライバルク船部門では中国や韓国の新造船供給圧力が市況低迷の大きな要因となっています。特に中国の造船所はマーケットが好調であった二〇〇四年頃からキヤパシティを拡大、二〇一〇年の建造量は二〇〇四年の七・七倍と大幅に増えており、昨年の新竣工量は二〇〇九年比で一・六倍です。こうした新造船が昨年から次々と運航を開始しました。第2四半期以降は荷動きも増え、黒字回復を見込んでいますが、通期業績予想を下方修正し、売上高一兆五〇〇億円、経常利益

三五〇億円、純利益一七〇億円となりました。

本誌 昨年三月に二〇一〇年度からの三カ年（二〇一〇年四月～二〇一三年三月）中期経営計画「GEAR UP! MOL」を発表しましたが。

武藤 この中期経営計画では「新たな成長への挑戦」をメインテーマに「経済危機からの回復と成長市場への展開加速」「安全運航強化」「環境戦略」から成る全体戦略を策定、新興国を中心としたグローバルな成長市場での収益拡大に向け、営業基盤の強化を図っており、安全運航強化については二〇一〇年度からの三年間で二四〇億円を投入し、船舶の安全装備充実、優秀な船員の確保・育成を行います。また、環境対策では次世代船構想「船舶維新」プロジェクトを進めており、三年間で二八〇億円を投じる予定です。さらに、同計画では三カ年の年度別利益計画を策定するとともに六年後の二〇二六年三月期の目標数値も設定、三カ年の年度別連結経常利益を二〇一〇年度・一〇〇〇億円、二〇一一年度・二二〇〇億円、二〇一二年度・一五〇〇億円としていましたが、二

〇一〇年度は欧米の景気回復などから荷動きが増加、計画を二割以上回る二二六億円を計上してきたものの、今年度は前述のように市況低迷から計画を大幅に下回る見込みです。ただ、二〇一二年度に関しては修正を行っていません。

本誌 海運業界では初めて日本政策投資銀行（DBJ）の環境格付を取得しましたね。

武藤 当社は今年六月にDBJの環境格付を取得、これに基づく融資を受けました。DBJの環境格付を取得するのは海運業界では初めてで、当社は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクでの格付となりました。この格付取得は実現可能な技術を用いてCO₂の排出量削減を図る「船舶維新」プロジェクトの推進や効率的運航を追求した「ECO SAILING」の徹底などによる環境保全対策に加え、二四時間体制で全運航船をモニターする海運業界初の「安全運航支援センター」の設置による安全運航の徹底などが評価されたもので、DBJから超低利の融資を受けています。環境問題は輸送需要の増大に对应しようとする海運業界にとって、一



海外船社として初めて中国の造船所にLNG船を発注

本誌 海外船社として初めて中国の造船所にLNG船を発注しました

面において二律背反を強いるものですが、今後も中期経営計画に掲げている環境戦略を推進し、CO₂の排出を極力少なくする低環境負荷輸送のソリューションを提供していきま

ね。

武藤 当社とエクソンモービル社は、中国船舶工業集団グループの滬東中華造船(集団)を、パプアニューギニアLNGプロジェクトと豪州ゴーゴンLNGプロジェクトの中国向け輸送用LNG船四隻の建造造船所に選定しました。滬東中華造船と造船契約基本協定書を締結するとともに、エクソンモービルを加えた三社間でプロジェクト開発協定書を締結し、今年一月に協定書締結を祝う記念式典を北京で開催しました。この新造LNG船は二〇一五年から二〇一六年にかけて竣工、中国大手国

営船社の中国海運(集団)を共有船主として中国大手エネルギー会社向けのLNG輸送に投入されるもので、当社では建造品質などの引き上げを目指して今年一月から技術者を滬東中華造船に派遣しています。さらに四隻の建造が並行して進むピーク時には派遣員を五〇名まで増やす予定で、こうした長期にわたるビジネスを通して中国関係者との連携を深め、二〇〇九年度で売上げの二二%程度を占める中国ビジネスの拡大を図っています。

本誌 東日本大震災被災者の救援や被災地の復興に向けさまざまな支

援活動を行いましたか。

武藤 当社グループの主な支援活動は義援金の寄付(救援資金五〇〇万円とグループ役員からの募金五五〇〇万円)、緊急支援物資の手配・提供(五〇〇〇万円相当)、フエリーによる自衛隊の車両および隊員輸送(苫小牧港から青森港へ延べ一〇航海で自衛隊員約二七〇〇名、車両二二六〇台)、国際救援物資の無償輸送引き受け、客船「ふじ丸」による食事、入浴、休息などのデイユースサービスの無償提供、冷凍コンテナの寄贈などを行いました。今後は海上輸送の面から日本のライフラインを支えて行くことを通じて、日本経済復活のために尽力していきます。

本誌 海運市況の好転はいつ頃になりそうですか。

武藤 二〇一三年以降は新竣工船が減り、船舶の需給バランスが縮まってくることや、鉄鉱石の輸送が増えることなどからドライバルク船が再び活況を呈すると見込んでいます。それまでは地道に長期契約をベースにした安定収益を目指します。今年、来年は踏ん張りどころで、今できることを着実に進めていきます。

武藤光一(むとう・こういち)氏
1953年9月生まれ。1976年・名古屋大学経済学部卒業。同年・大阪商船三井船舶(現商船三井)入社。1994年・MITSUI O.S.K LINES (EUROPE) LTD. 出向。2002年・商船三井不定期船部長。2003年・経営企画部長。2004年・執行役員就任、経営企画部長委嘱。2006年・常務執行役員就任。2007年・取締役常務執行役員。2008年・取締役専務執行役員。2010年・代表取締役社長執行役員就任。